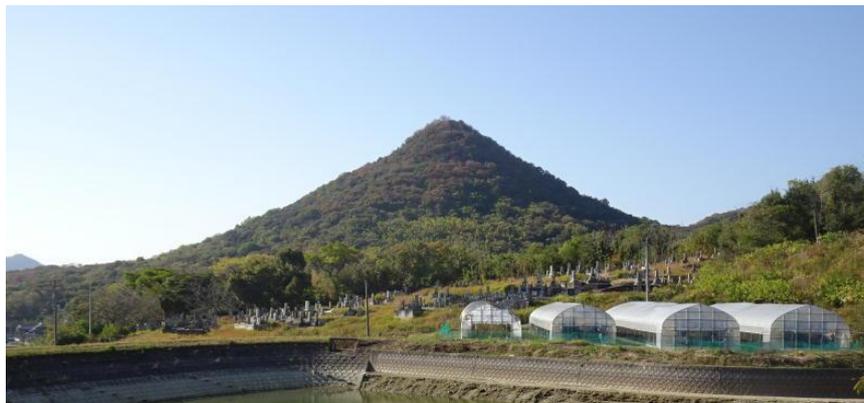


校長通信「R6三野津」NO11



令和7年3月13日（木）

昨年の冬に貴峰山（とみねやま）に登りました。



貴峰山は、きれいな円錐形の山で、標高は223m。中腹にはミニ四国八十八か所があり、大見小学校の校歌にも歌われている山です。登山道が直登コースなのでかなり息が上がりますが、山頂からの景色は最高です。上の写真が山頂から撮ったものですが、見事に三野町全域が見渡せます。3年生をはじめとする皆さんに次の言葉を送ります。
「努力して、高みに登ると違う景色を見ることができる。→（言い方を変えて）→頑張ると、違う角度から物事を見ることができる。」（5年度の校長通信NO1参照）

もう一つ、別の意味の言葉を送ります。

「よく見ると、素敵な物や人が身近にたくさんいる（ある）」

左下の写真は現在のグリーンカーテンです。枯れているように見えますが、近づくと新しい芽が見えます。中央下の写真はあじさいです。こちらも枯れているように見えますが、よく見ると新しい芽がたくさん出ています。ぼーっと



見ていると、近くの素敵な物を見逃しているかもしれません。 ▲ミニ四国八十八か所

努力して、違う角度から広い視野で物事を見るとともに、近くにいる素敵な人や素敵なものを見逃さないように、歩いていってください。



▲グリーンカーテンの新芽 ▲遠目に見た紫陽花（あじさい）

▲紫陽花の新芽